



# 見直しの技術

イラストレーター: Alex Mathers

## レッスン前の準備

今回は、「見直しの技術」について考えていきましょう。

翻訳の草稿を見直すときに、まず行うことはどれでしょうか？

- 文法やその他のミスがないか確認する
- 訳文が自然に聞こえるようにする
- 原文と訳文をくらべる

最も深刻な翻訳ミスとは何だと思いますか？

- 誤訳: 単語や文字を間違って訳してしまう
- 訳抜け: 訳されていない単語や文字がある
- 不自然な訳文: 語句や文章をうまく訳せず、訳文が不自然に聞こえる

翻訳作業の手順でもっとも重要なステップは、次のうちでどれでしょうか？

- 原文の内容や望まれる訳調などについて、お客さまと話し合う
- 下調べをする
- 訳文の草稿を見直す

## はじめに

あなたは完ぺきな翻訳を1回で完成させられますか？

たぶん、できませんよね。

プロのトランスレーターでも、訳文の見直しに時間をかけます。

実際、見直しに時間をかけるかどうかは、往々にして  
プロのトランスレーターと経験の浅いトランスレーターとの  
分かれ目になります。

このレッスンでは、見直しの手順に含める作業を紹介しています。

一定の手順に従えば、必要なステップを見落とすことは  
ありませんし、良い習慣づけにもなります。

また、最終的な成果物である「質の高い訳文」に  
フォーカスしやすくなります。

## 用語の確認

### **revise** (見直す) 動詞 /rɪ'vaɪz/

to look at or consider again an idea, piece of writing, etc.  
in order to correct or improve it.

(あるアイデアや文章をあらためて確認・検討して、ミスを修正したり  
内容を改善したりすること)

出典: [Cambridge Dictionary](#)

### **self-revision** (自分自身による見直し)

自分の翻訳を確認して修正すること。このレッスンでは、  
「自分自身による見直し (self-revision)」にフォーカスしています。

### **proofreading** (校正)

Gengoでは、ほかのトランスレーターの翻訳を確認して修正することを  
「校正 (proofreading)」と定義しています。

# 「トランスカルプチャー」の手順



1. 彫り



2. ヤスリがけ



3. 仕上げ磨き



# 1. 彫り

訳抜けや誤訳がないかを確認し、訳文を整えます

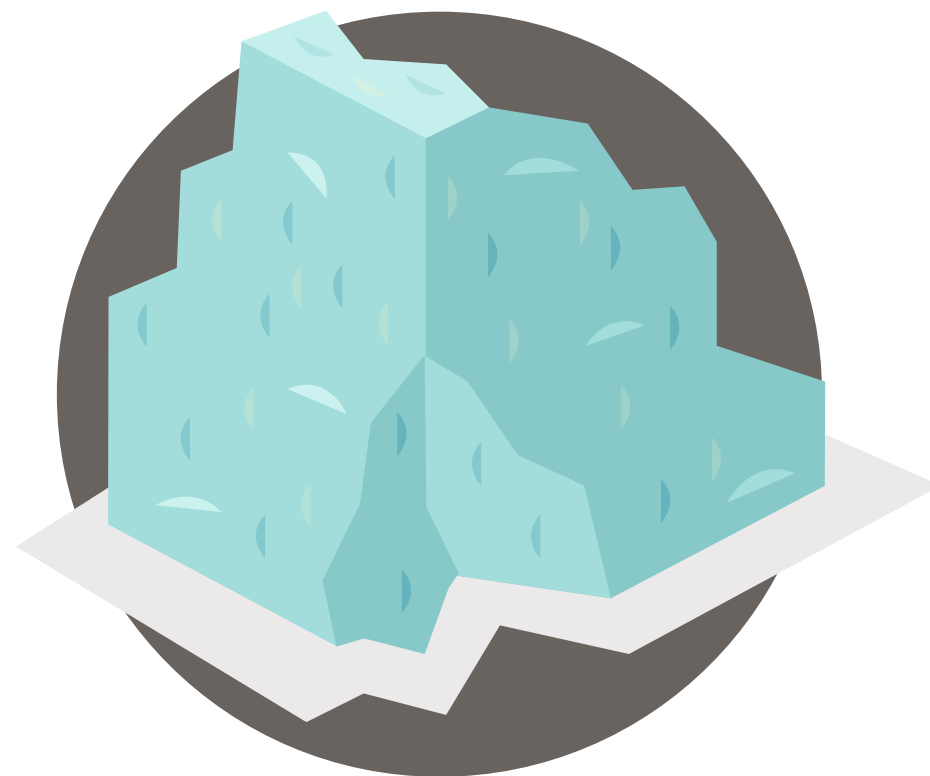
## 1. 彫り

## 2. ヤスリがけ

## 3. 仕上げ磨き

訳文の草稿ができたなら、「のみ」を使って文章を整え、細かい部分を工夫します。

「彫り」段階では、訳抜けや誤訳がないかを確認します。自分の訳文を原文と丹念につき合わせてみましょう。





## 「彫り」用のチェックリスト

- 全ての語句が訳されていますか？
- 訳文には、原文に含まれた事実が全て反映されていますか？
- 原文での意味をきちんと伝えていますか？
- 原文のレイアウトやフォーマットに従っていますか？  
従っていない場合、その理由はなぜですか？
- 用語集の用語を使用しましたか？
- お客様の指示に従いましたか？



1. 彫り

2. ヤスリがけ

3. 仕上げ磨き



「彫り」は完了しましたか？

完了したら、いったん休憩しましょう。



## 2. ヤスリがけ

荒削りな部分をなめらかにして、文章の自然さや流れをより良くします

## 1. 彫り

## 2. ヤスリがけ

## 3. 仕上げ磨き

原文の内容をもれなく訳し、意味も正しく伝えられたと確信できたら、もう一度訳文だけを読んで、一貫性・自然さ・流れを確認します。

読み手の立場になって、以下の質問を試みましょう。

- 意味は通っていますか？
- 自然に響きますか？
- 文と文のつながりは明確ですか？
- パラグラフ (段落) 間の流れはスムーズですか？
- 不自然な文や読みづらい文はありませんか？

1. 彫り

2. ヤスリがけ

3. 仕上げ磨き



「ヤスリがけ」が完了したら、もう一度休憩しましょう



### 3. 仕上げ磨き

文章のミスを修正して、あなたの翻訳という名の彫刻「トランスカルプチャー」の完成度をさらに高めます

## 1. 彫り

## 2. ヤスリがけ

## 3. 仕上げ磨き



せっかく良い翻訳をしたのに、細かい部分に十分注意しなかったり、仕上げをおこたったりしたために失敗するケースがよくあります。

自分の翻訳をもう一度読んで、以下のようなミスがないか注意しましょう。

- Gengoの[スタイルガイド](#)に従っていない部分
- スペルミスや入力ミス
- 文法上の誤り
- 語句の繰り返しや (英語の場合は) Run-on sentences (2つ以上の文が、接続詞なし、または間違った句読点で続いている文)

## スペルチェッカーの活用

スペルチェック機能は、ほとんどのワープロソフト (Word など) やテキストエディター、表計算ソフト (Excel など) に搭載されています。つまり、スペルミスをしていたら言い訳はできないのです。

スペルチェッカーを上手に活用するコツを紹介します：

- 最初に辞書の言語を設定する
- WordやExcelなどでフルチェックを行う
- 「すべて無視」や「すべて変換」を活用する

## 「仕上げ磨き」のテクニック

同じテキストに長時間取り組んでいると、問題点を (普通ならすぐに気づく問題点でも!) 発見しづらくなってきます。ささいなミスを発見して修正するためのテクニックを紹介します。1つでも、2つ以上でも、ぜひ試してください：

- 休憩をする。「新鮮な目」で見ると、思いがけない気づきがある場合があります
- 訳文を声に出して読む
- 訳文を1文ずつ読む
- 訳文を反対から (最後から最初に向かって) 読む

## 学んだことを実践してみましょう

それでは実際に「トランスカルプチャー」方式で翻訳してみましょう！  
練習用に、粗訳をいくつか用意しました。



### レッスンをダウンロード

このレッスンについてご質問やご不明点がある方は、  
[トランスレーターフォーラムのディスカッション](#)にご参加ください。